

春の星空



星空紹介

暖かくなると、夜空に春の星座たちが姿をあらわします。順番に春の星々や星座を探してみましょう。

まずは北の空に浮かぶ、大きなひしゃくの形をした七つの星を見つけてください。北斗七星と呼ばれるこの星々は、おおぐま座の腰としっぽの部分にあたります。クマにしては長いしっぽですが、空にあげられたときに、しっぽをもって振り回されたからだという話もあります。

このしっぽは少しカーブを描いていて、このカーブを延長すると、最初に見つかるのがオレンジ色に輝く、うしかい座のアルクトゥルスです。そして次に見つかるのが、青白く輝くおとめ座のスピカです。このおおぐま座のしっぽからアルクトゥルス、スピカへと結ぶ曲線は「春の大曲線」と呼ばれ、春の星座を見つける目印になります。さらに曲線を南へたどっていくと、からす座を見つけることができます。からす座は、夜空に貼り付けられているともいわれ、四角形をつくる4つの星は、からすを留める釘として夜空に輝いているといわれています。

また、アルクトゥルスとスピカ、しし座のデネボラを結ぶ三角形を「春の大三角」と呼び、これも春の星座探しの目印になります。しし座の胸あたりにはレグルスが輝いています。また、ししの頭から胸にかけて結んだ星の並びは、逆向きのクエッションマーク(?)の形をしており、「ししの大鎌」と呼ばれています。

いくつかの目印を頼りに、春の夜空を見上げながら、星座探しを楽しんでみてください。



4月上旬 23 時頃
5月上旬 21 時頃
6月上旬 19 時頃

みどころ

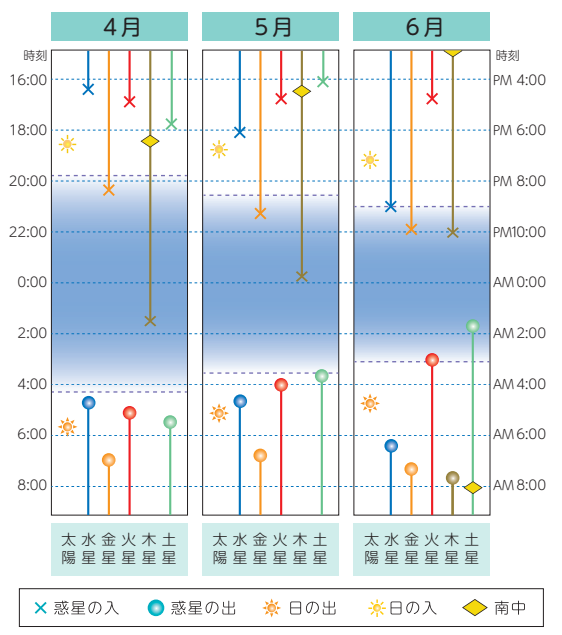
惑星
★水星：6月16日に東方最大離角となり、日の入後、西の空低くに見える。
★金星・木星：日の入後、西の空に見える。
★火星・土星：4月下旬ごろから日の出前、東の空に見える。

流星群
★こと座流星群
4月23日5時ごろピーク。日の出前で明るくなり始めるため、3時ごろの観察がおすすめ。

月の満ち欠け

新月	上弦	満月	下弦
3/19	3/26	4/2	4/10
4/17	4/24	5/2	5/10
5/17	5/23	5/31	6/8

各月上旬の惑星の見え方



プラネタリウム番組紹介

プラネタリウム版 生命大躍進



地球最初の生命が誕生したのは40億年前。生命は、私たち人間に進化するまで、たくさんの困難を乗り越えながら、途切れることなくつながってきました。これまでどのようなことが地球で起こり、『生命の物語』が続いたのか。進化の大ジャンプを繰り返した末にたどり着いた生命の歴史、遥かな時を超えた壮大な時間旅行を、迫力の映像でたどります。

こちらも放映中
特別番組



南極ヒーリング ～この地球の果てで～

地球で一番寒い場所・南極。そんな過酷な気象条件の場所に今も、昔のままの雄大で美しい自然環境が残されています。日本ではなかなか見ることでできない自然現象や、街明かりのない南極の満天の星をおとどけします。

放映期間
3/14(土)
～6/7(日)

※特別番組は12:00のみの放映です。※イベント等により、休映することがあります。